

# 令和6年度前期 たいし塾

テーマ

『仏教入門講座 — インド仏教思想の原点を探る —』

飛鳥時代に我が国に仏教が伝来してより、1400年以上の歳月が経ちました。日本の文化や歴史を深く理解するためには、仏教思想の基礎的知識がとても重要となってきます。この講座では、インドに誕生した仏教が哲学として、また思想として経典や論書にどのように説かれているのか？今回は、特にインドに起こった仏教の実在論に焦点をあて、そこに見られる諸思想と教義とは、どのようなものなのか？経典や論書なども参照しながら、源流にあるインド仏教思想の特徴や基本的概念を分かりやすく学んでいきます。

6/1<sup>±</sup>

## ● アビダルマ思想と大乘経典

—ダルマとは何かを考える—

藤谷 厚生 教授

インド仏教の源流にある部派仏教、特に説一切有部の実在論の教義は、アビダルマ思想として体系化されました。ダルマとは何か？という点を主眼として、大乘経典の成立も含めながら総論的に解説いたします。

6/29<sup>±</sup>

## ● 唯識の思想

—唯識派の人間観について—

北山 祐誓 講師

唯識の思想は、5世紀頃のインドで無著・世親といった論師によって大成されました。それは、「アーラヤ識」と呼ばれる潜在的な心のはたらきを基盤として、自己や世界の存在について分析したものです。このような唯識思想のメカニズムを分かりやすく解説します。

6/15<sup>±</sup>

## ● 空と有と無

—中観派の「空」の思想について—

西山 亮 講師

龍樹を起源とする中観派が何を否定し、何を主張したのかを解説します。彼らは「空」を標榜したとされますが、「空」には極めて明瞭な意図がありました。「中道」などを関連させて説明いたします。

7/13<sup>±</sup>

## ● 如来蔵の思想

—仏性とは何かを考える—

藤谷 厚生 教授

大乘仏教の中心概念である如来蔵、仏性とは何か？本講義では『勝鬘経』や『涅槃経』に説かれた仏性論などについて、諸資料を参照しながら、その特徴を解説いたします。